

須坂市埋蔵文化財関係文献一覧

(編著者名 50 音順)

(A 地誌・遺跡地名表類)

1. 井上村誌編纂委員会 1961 『井上村誌』
2. 上高井教育会 1915 『上高井歴史』
3. 上高井教育会 1938 『上高井郡山城居館址類集』
4. 上高井郡教育会 1913 『郷土に於ける史蹟写真帖』
5. 上高井郡教育会 1914 『上高井郡誌』
6. 上高井郡豊州村 1954 『豊州村の歩み』
7. 上高井誌編纂会 1962 『上高井誌 歴史編』
8. 勝山忠三 1916 『上高井歴史』
9. 小林忠治 1954 『日滝村村誌』
10. 信濃史料刊行会 1956 『信濃史料第1巻(上・下)』
11. 須坂市史編纂委員会 1981 『須坂市史』
12. 高甫村誌編纂委員会 1960 『高甫村誌』
13. 徳永哲夫・落合繁治 1959 『日野村誌』
14. 豊丘村誌編纂会 1963 『豊丘村誌』
15. 長野県 1936 『長野県町村誌 北信篇』
16. 長野県教育委員会 1969 『昭和43年度国鉄複線化等開発地域埋蔵文化財緊急分布調査報告書』
17. 長野県教育委員会 1975 『関越自動車道上越線建設予定地域内埋蔵文化財緊急分布調査報告書』
18. 長野県教育委員会 1983 『長野県の中世城館跡』
19. 長野県史刊行会 1981 『長野県史考古資料編遺跡地名表』
20. 仁礼村誌編纂委員会 1973 『仁礼誌』
21. 文化財保護委員会 1967 『全国遺跡地図 長野県』
22. 文化庁文化財保護部 1983 『全国遺跡地図 長野県』

(B 個々遺跡に関する報告・論文類)

23. 青木廣安・関孝一 1971 「長野県須坂市三入道縄文後期遺跡の発掘調査」(『信濃』Ⅲ23-11)
24. 青木廣安 1972 「須坂市に於ける古墳の分布」(『上高井教育』)

- 29)
25. 安 藤 裕 ほか 1977 『信州の焼き物』
 26. 岩 崎 長 思 1926 「井上氏史蹟」(『長野県史蹟名勝天然記念物調査報告』5)
 27. 大 場 磐 雄 1957 「鎧塚発掘に於ける遺物発見の意義」(『上高井教育』9)
 28. 興 津 正 朔 1967 「吉向焼と須坂焼雑考」(『上高井教育』24)
 29. 興 津 正 朔 1969 「須坂市北小河原左願寺の古瓦」(『高井』10)
 30. 興 津 正 朔 1970 「長野県須坂市塩川永隆廃寺址の出土遺物について」(『長野県考古学会誌』9)
 31. 片 山 正 行 1982 「須坂市本郷大塚古墳発掘の周辺」(『須高』14)
 32. 金 井 喜 久 一 郎 1966 「井上氏城跡」(『長野県指定文化財調査報告』3)
 33. 金 井 汲 次 1971 「長野県須坂市吉向窯址」(『日本考古学年報』19)
 34. 金 井 正 三 1979 「須坂市日野地区出土の二つの石庖丁」(『須高』10)
 35. 金 井 正 三 1982 「橋場遺跡と縄文時代の上高井」(『須高』15)
 36. 上高井郡郷土史研究同好会 1984 「上高井郡内古墳の概観」(『須高』18に再録)
 37. 唐沢貞治郎・岩崎長思 1923 「鎧塚古墳」(『長野県史蹟名勝天然記念物調査報告』1)
 38. 桐 原 健 1961 「長野県須坂市須坂園芸高校校庭出土の弥生式土器について」(『信濃』Ⅲ13-8)
 39. 桐 原 健 1984 「北信濃における古代末仏教の受容層」(『須高』19)
 40. 栗 原 長 之 助 1932 「小河原の遺跡について」(『信濃』Ⅰ1-4)
 41. 神 津 猛 1932 「左願寺の古瓦」(『信濃』Ⅰ1-8)
 42. 斉 藤 忠 1964 「積石塚考」(『信濃』Ⅲ16-5)
 43. 醉 古 生 1932 「都住村の小研究行」(『信濃』Ⅰ3)
 44. 須坂高校郷土部 1984 「中世須田氏の根拠地」(『須高』18)
 45. 須坂高校郷土部考古班 1983 「上高井の古墳時代に関する一考察」(『須高』16)
 46. 須坂市教育委員会 1975 『須坂市口明塚第4・5・6号墳確認試掘調査報告書』

47. 須坂市教育委員会 1977 『大塚畑第3号墳確認調査報告書』
48. 須坂市教育委員会 1977 『天神第1号墳確認調査報告書』
49. 須坂市教育委員会 1978 『行人塚古墳』
50. 須坂市教育委員会 1979 『田野神団地宅地造成地内埋蔵文化財包蔵地
確認調査報告書』
51. 須坂市教育委員会 1980 『井上氏城跡 居館址南堀範囲確認調査』
52. 須坂市教育委員会 1982 『橋場遺跡』
53. 関 孝 一 1978 「菖蒲沢洞穴遺跡」(『日本考古学年報』24)
54. 関 孝 一 1982 「須坂地方の古墳時代について」(『須高』15)
55. 瀬下敬忠 宝暦3年 「千曲之真砂」(『新編信濃史料叢書』4)
56. 橋 鎮 兄 万延年間 『信濃細石』
57. 長野県考古学会 1969 「積石塚をめぐる諸問題」(『長野県考古学会
誌』6)
58. 永 峯 光 一 1957 「長野県上高井郡東村石小屋洞窟覚書」(『信
濃』Ⅲ9-5)
59. 永 峯 光 一 1960 「長野県須坂市鎧塚古墳の調査」(『考古学雑
誌』45-1)
60. 永 峯 光 一 1965 「長野県上高井郡東村仁礼山石小屋洞窟の調
査について」(『信濃考古』14)
61. 永 峯 光 一 1967 「長野県石小屋洞穴」(『日本の洞穴遺跡』)
62. 永 峯 光 一 1968 「石小屋洞穴発見の微隆起線文土器」(『古代
文化』20-8・9)
63. 永 峯 光 一 1982 「石小屋洞穴遺跡」(『長野県史考古資料編主
要遺跡(北・東信)』)
64. 永 峯 光 一 1982 「八丁鎧塚1・2号古墳」(『長野県史考古資
料編主要遺跡(北・東信)』)
65. 永 峯 光 一 1982 「天神1号古墳」(『長野県史考古資料編主要
遺跡(北・東信)』)
66. 樽崎彰一ほか 1982 『日本やきもの集成2 東海甲信越』
67. 堀内源監ほか 1975 「高井郡福島城興亡史」(『須高』2)
68. 宮坂英弉 1949 「奥信濃原始文化の概観」(『信濃』Ⅲ1-2)
69. 八木貞助・岩崎長思 1925 「臥竜山」(『長野県史蹟名勝天然記念物調査
報告』3)
70. 錦田弘実 1983 「北信地方における縄文中期後葉より後期初
頭の土着土器」(『須高』17)
71. 須坂市教育委員会 1985 『福島城址』

72. 須坂市教育委員会 1985 『鎧塚第2号古墳』